

9月3日(火)

イエス様が主役

聖書朗読 コリント人への手紙 第一 1:13~30

それで、私もその喜びで満たされているのです。あの方は盛んになり私は衰えなければなりません。」
ヨハネ 3:29~30

主にお仕えすることはどういうことを理解すると、心の重荷から解放されます。周りの人たちが何をしようと気にすることなく、主が望んでおられることに完全に献身することができます。私たちは競争しているのではなく、協力すべきなのです。

まだ未熟だったコリント教会の人たちは、皆が一つとなりイエス様に仕えるより、教会のリーダーたちにつこうとしていました。「アポロにつく」と言う者がいれば、「パウロにつく」と言う者がいて、「ケパ(ペテロ)につく」と言う者もいました。使徒パウロは皆すべてイエス様の弟子であり、イエス・キリストの福音を宣べ伝えるにあたってひとりひとりにそれぞれ役割が与えられていると注意しました。各自が神様のご栄光と御国の建設のために貢献するのです。

バプテスマのヨハネは「あの方(イエス様)は盛んになり私は衰えなければなりません。」と言って、自分を低くして神様をたたえる手本を見せてくれています。彼は『主の道をまっすぐにせよ』と荒野で叫ぶ仕事を与えられていましたが、イエス様が表舞台に登場するや、ヨハネは背後に消え去ります。バプテスマのヨハネはイエス様の背後に行くことを、怒ったり、妬んだり、悲しんだりせずに、喜びました。神様が彼に与えられたわざをなし終え、今やイエス様が神様のみこころを地上において成し遂げられる舞台が整ったのです。私たちはへりくだって身を引き、神様のみこころがなされるようにしましょう。自分を低くすることによって、私たちの喜びは増すのです。

讚美歌 495 イエスよ この身を

祈り 主よ、あなたの御前でへりくだりたいと思います。あなたのみこころのために働き仕える時、常にあなたを高くし称えることができますように。イエス様のお名前によって。アーメン。

アーカンソー州 ファイエットビル / L. スコット・ゲイジ

9月4日(水)

神に栄光あれ

聖書朗読 コリント人への手紙 第二 10:12~18

このように、あなたがたの光を人々の前で輝かせ、人々があなたがたの良い行ないを見て、天におられるあなたがたの父をあがめるようにしなさい。

マタイ 5:16

ある冷え込んだ感謝祭(訳注:米国の祝日で法定休日。11月の第4木曜日)の日、恵みのうちに、教会で催したお食事を提供するミニストリー(奉仕)に参加することができました。お腹を空かしたり、寒さに震えたりしている人たちがたくさん、食事や暖かいコートを求めて教会にやって来ました。

大勢の人たちの必要を満たそうと頑張っていると、列に並んでいたある婦人が「何でこの寒い日に出て来て、私たちを助けたいと思うの。」と言いました。どう答えたらよいか考えあぐねて、「神様がお遣わしになったのです。」と何とか答えました。婦人は「ありがとう。」と言ってくれ、私は恐縮しました。

『あなたがたのすることは、ことばによると行いによるとを問わず、すべて主イエスの名によってなし、主によって父なる神に感謝しなさい。』(コロサイ 3:17)

私たちが父なる神様のみわざをなして受ける評判や賞賛はすべて、私たちを通して働かれる神様に帰すべきものです。神様は日々、私たちを強め励ましてくださいます。私たちが人々のお世話を必要とする物を差し上げる時、神様は私たちに新しい機会を与え、共に行ってくださいます。神様の御前でへりくだるなら、私たちは恵まれます。

キリスト教徒がもっと神を讃えれば、世界は神を疑うことが少なくなるだろう。

— チャールズ E・ジェファソン*

*訳注:アメリカの会衆派教会の牧師。1860-1937



讚美歌 392 ナルドのつば

祈り 父なる神様、私たちの行く道、お仕えする場所、お導きくださいまして本当にありがとうございます。すべてあなたに栄光がありますように。イエス様のお名前によって。アーメン。

テキサス州 アーリントン / ローレン・ハワード

9月5日(木)

どんなことでもできる

聖書朗読 コリント人への手紙 第二 11:24~28

私は、私を強くしてくださる方によって、どんなことでもできるのです。

ピリピ 4:13

私たちの生活は以前よりかなり便利になったり、楽になったりして、物事がうまく行かなくなった時、耐え忍ぶのが難しいのではと思うことがよくあるかもしれません。私たちの中でどのくらいの人たちが本当に悪い事態をくぐり抜けてきたでしょうか。どのくらいの人たちが、あらかじめ困難に遭うことを知らされたとして、「難なく乗り切れるよ。」と言えるでしょうか。

パウロはあらゆる境遇に対処することを学びました。ピリピ 4:13で『私を強くしてくださる方(キリスト)によって、どんなことでもできる』と言った時、パウロはキリストのゆえに、どんなことでもできると言いたかったのです。パウロはどんな状況に直面したでしょうか。ユダヤ人から三十九のむちを受け、ローマ人からむちで打たれ、石で打たれ、三度難船し、一昼夜、海上を漂い、盗賊の難、同国民から受ける難、異邦人から受ける難、都市の難、荒野の難、海上の難、にせ兄弟の難にあい、しばしば食べ物もないことがありました。

しかし、そのような試練の中で、パウロは神様に祈りつつ賛美の歌を歌っているのです。困難な状況に立ち向かう時、パウロを思い出し、彼の言葉に耳を傾けましょう。私たちも主の絶えざる助けと御力によって、どんな状況をも乗り切ることができます。どんなことでもできるでしょうか。できますとも、主が共におられますから。

讚美歌 448 み恵みを 身にうくれば

祈り 主よ、苦難の中にある人々に働く、あなたの御力に驚かされます。パウロを強め試練を乗り越えさせてくださってありがとうございます。彼の例を見て励まされます。今日、私たちを強めてください。あなたがともにいてくださると信じます。イエス様のお名前によって。アーメン。

テキサス州 アービング / ブライアン・ヒューメック

9月6日(金)

あなたの宝

聖書朗読 コロサイ人への手紙 2:1~7

自分の宝は、天にたくわえなさい。そこでは、虫もさびもつかず、盗人が穴をあけて盗むこともありません。あなたの宝のあるところに、あなたの心もあるからです。
マタイ 6:20~21

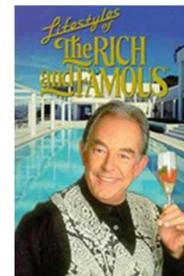
80年代のテレビ・シリーズ《Lifestyles of the Rich and Famous》(金持ち有名人のライフスタイル)は、大金持ちのエンターテイナーやアスリート、名士たちの贅沢な暮らしぶりと呼び物にしていました。取り上げた人たちの豪邸や魅惑的な生活様式がどのようなものかを考えさせるというのが、番組のコンセプトでした。番組を観て、豊かな暮らしを夢見た人もいれば、金持ちで有名になることに伴う罨は絶対避けようと思った人もいました。

本日の聖書箇所2~3節を読むと、私たちは神様から常に宝を与えられていると気付きます。イザヤは神様の恵みという富を認めて、次のように書いています。『わたしは主によって大いに楽しみ、わたしのたましいも、わたしの神によって喜ぶ。主がわたしに、救いの衣を着せ、正義の外套をまとうせ、花婿のように栄冠をかぶらせ、花嫁のように宝玉で飾ってくださるからだ。』(イザヤ 61:10)

天の父なる神様のほかに宝を探そうとするのはもう永久にやめましょう。

聖歌 570 雨をふりそそぎ

祈り 恵み深いお父様、私の人生にあふれんばかりに注がれている、あなたのみ恵みを感謝しても感謝し切れません。物質的な物から目を上げ、子どもとしてあなたの家族に加えてくださったという永遠の宝に焦点を合わせられるように助けてください。イエス様のお名前によって。アーメン。



テキサス州 アマリロ / ダニー・マイズ

9月7日(土)

帰郷

聖書朗読 テサロニケ人への手紙 第一 4:13~18

こういうわけですから、このことばをもって互いに慰め合いなさい。

テサロニケ I 4:18

ある日曜日に、私は、自分が最初に伝道者としてご奉仕させた頂いた教会の礼拝の説教者として招かれました。その日は、以前教会員だった方々をお招きするという特別の礼拝 (Homecoming Sunday*) でした。それは、私たち家族にとって素晴らしい一日でした。私と妻と末息子とで行き、住んでいた家や一緒に散歩した公園のそばを通りました。当時の人々や出来事の大切な思い出で胸がいっぱいになりました。一日だけでも、過ぎし日の思い出を追体験できて、帰って来たかがありました。(*訳注:アメリカでは教会同窓会のように昔メンバーだった方を母教会にお招きして礼拝を共にし、お交わりするという特別行事がある)。

私たちが永遠の我が家に帰る素晴らしい日のことを想像できますか。いつか主イエス様ご自身が天から下って来られるのを見るのだということを考えられますか。キリストにあって眠った人々の復活についてはどうですか。私たちは主とともに集められます。『このようにして、私たちは、いつまでも主とともにいることになります。』(テサロニケ I 4:17b) 永遠の故郷に帰るのです。

これらの言葉が書かれたのは私たちを慰めるためです。この世での帰郷は、私たちがやがて永遠の故郷に帰るその日をちょっとだけ味わってみるようなものです。愛する眠った人々が、復活というこの偉大な出来事からもれてしまうのではないかと心配するクリスチャンがいます。死者も生き残っている者ももれることはありません。皆同じように引き上げられ、空中で主とお会いするのです。主にまみえ、御使いのかしらの声を聞くでしょう。何という輝かしい日になることでしょう。

聖歌 638 みくににすまいを

祈り 主よ、御国や復活の素晴らしい日のことを考えるのは大きな慰めです。

その日を備えてくださっていることを覚え、永遠に感謝します。私たちが心に留め見失わないように助けてください。イエス様の尊いお名前によって。アーメン。

テネシー州 ナッシュビル / ジョッシュ・バーネット

9月8日(日)

祈りには力がある

聖書朗読 ヘブル人への手紙 4:12~16

苦難と窮乏とが私に襲いかかっています。しかしあなたの仰せは、私の喜びです。
詩篇 119:143

1カ月の間、神様も御国の希望も諦めていました。やみと絶望に打ちのめされてきました。

金曜日の晩、惨めな思いでベッドに横になっていましたが、突然、我に返って、自分に言いました。「心を尽くして神様を愛したい。神様に忠実に、その日その時に神様のみこころを行いたい。」

私は悔い改めて、再び献身することを決意しました。(コリント II 7:10) 何で突然変わったのか、その時はわかりませんでした。今はわかります。私の問題を知った200人ほどの兄弟姉妹が皆で私のために祈ってくれていたのです。神様が祈りに答えて介入してくださったのだと信じます。神様は私をやみから素晴らしい光へと救い出してくださいました。私は神様との交わりに戻り、神様の光の中を歩んでいます。(ヨハネ I 1:7)

以前は、兄弟姉妹に「あなたのためにお祈りします。」と言われたら、感謝はしても大して気にはかけませんでした。今では祈りを真剣にとらえています。神様は私たちの祈りを聞かれ答えられるという大事な教えを学びました。神様は約束を守られるお方です。

誰かに「あなたのためにお祈りします。」と言われたら、真剣に受け止めてください。神様は聴いておられます。(ヤコブ 5:16)

讃美歌 316 主よこころみ うくるおり

祈り 天のお父様、あなたを離れては、やみしかありません。私に対する愛、恵み、あわれみ、忍耐を感謝します。イエス様のお名前によって。アーメン。



コロラド州 カノンシティ / ロン・グロース